

グローバル・フードバリューチェーン推進官民協議会
分野別研究会【スマートフードチェーン】

タイにおける取組と提案

国際部国際地域課

令和3年2月17日

MAFF

Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries

農林水産省

タイにおける取組：背景

GFVC構築推進プラン（2019年12月）（抜粋）

ASEANなどの各国政府との二国間政策対話等を通じ通信インフラ環境、関連法制、**具体的なニーズ等の把握と環境整備を推進**し、それぞれの国・地域で**有効なスマート農業技術の普及に取り組む**。

スマート農業パッケージ（2020年10月）（抜粋）

5. 海外への展開

（3）官民連携したプロジェクトづくり

・スマート農業に関する国際的な議論に対応しつつ、**ASEANをメインターゲットとした技術導入に向けた取組の推進、二国間対話等を活用した環境整備**や、…（中略）…、**官民挙げた海外展開の取組を推進**する。

我が国スマート農業
技術は稲作を中心に
発展

農業形態や気候が近く、
稲作が盛ん

日本企業からの
高い関心

加えて
+

タイは、国家戦略
「タイランド4.0」に
スマート農業
推進を位置づけ

タイにおける取組：海外展開のための環境整備

タイ農業協同組合省との対話の立ち上げ

第1回スマート農業技術に係る会議（2020年11月：審議官級）

- ・ タイ側の農業の課題、ニーズのあるスマート農業技術の把握
- ・ 農業データシステムに関する取組状況

我が国から、WAGRI・スマートフードチェーン構築実証(WAGRI-dev)
タイ側から、Agri-Map, NABCの設立、“THAGRI”構想

第2回スマート農業技術に係る会議（2021年1月：審議官級）

- ・ 来年度のタイにおける技術実証の実施に向けた調整
- ・ スマートフードチェーンに係る日タイ間の協力の枠組みに向けた議論



タイ側の第2回会議の様子

対話を通じ、**我が国のスマート農業技術を有する日本企業の展開しやすい環境整備を推進**。また、**今後、関連法制・規制等、障壁となる課題の把握と障壁の解決を目指す枠組み**として機能。

タイにおける取組：技術実証の実施（R3～）

日本に技術優位性のある「**稲作**」に関する**スマート農業技術**を**中心**に、技術を有する日本の企業が、**タイの実証ほ場**において**技術実証**を行う。

目的

日本のスマート農業技術を活用してタイにおいて**データ駆動型農業（data driven agriculture）**を実践し、その有効性を示すこと。

日本のスマート農業技術のタイでの実践を通じて**課題や障壁、その解決方法を明らかにすること。**

スケジュール

初年度（令和3年度）は、タイと日本の政府間での実証の実施に向けた計画策定や関係者間の調整、実証ほ場の立ち上げ等。